

「祈りの人になるには 2」

ダニエル書 6 : 7～10

コリント人への手紙第一 12 : 14～27

前回、声に出して祈り、みことばに基づいて祈る事を学びましたが、もっと大切なことは、こうした祈りを続けることです。

ともすると、自分が必要なとき、困ったとき、どうにかして欲しいときだけ祈る祈りになりがちです。霊的に成長するためには、どんな場合、どんな状況でも祈り続けることが大切です。そのために何が必要なのでしょうか、考えてみましょう。

今日の聖書の学びの要点

- ・ 神様は祈りを通して、人を育てられます。

神様は、自分の優先順位の一番に祈る時間を持つ人の祈りに応えられます。

また神様は、クリスチャン同士でみことばを中心に祈り合い、互いの重荷を負い合うことを喜ばれ、心を合わせる祈りに応えて下さいます。

I、決まった時間に毎日祈る

1、ダニエル書 6 : 7～10 を開いてみましょう。

ここに、神の人ダニエルの神様に喜ばれる秘訣が書かれています。

- ① 神に愛された用いられたダニエルは、妬む者に ^{ねた} 陥 ^{おとし} れられました。どのような事が起きましたか。(ダニエル書 6 : 4～9)

- ② 神に祈ることを禁止する法令が制定されたとき、ダニエルは何をしましたか。

(ダニエル書 6 : 10)

- ③ 「いつものように…」ここに彼の神に愛される秘訣があります。

基本として、あなたは毎日決まった時間に祈る習慣を身に付けていますか。

(ダニエルの祈りの時間は、朝 9 時、昼 12 時、午後 3 時と思われます。)

2、ダニエルの生活の優先順位の第一番は、何だったのでしょうか。

霊的な成長を願う私たちの、一日の優先順位の第一は何ですか。

3、ダニエルは直ぐに家に帰り、神様を礼拝し、宮殿で聞いた事を神様に申し上げたのではないのでしょうか。

①何か、事が起きる前に祈る事は、起きてしまってから祈るより大切です。

②事が終わった夜に祈るより、一日が始まる朝に祈ることを心がけましょう。

Ⅱ、教会での祈りを大切にする (礼拝と祈禱会を欠かさない)

1、ヨハネ 15：4～5 のみことばを考えてみましょう。

① ぶどうの木と枝の関係・・・ 主と私たち

② 木に繋がる枝同士の関係・・・ 枝々は互いに関わりを持っている。
木に繋がる枝は一本だけではありません。
実を实らせるために葉は光合成しますが、
枝同士は光を受ける効率が良いように繋っている。
嵐にも互いに助け合って枝は生えている。

2、私たちは、みことばを通してイエス様の体につながれた器官の一つであることを教えられます。(I コリント 12:18～27)

①教会の祈禱会：体の各器官を繋ぐ血管のようなもの

・ペンテコステは祈禱会から始まり →→→ 日曜日の主日礼拝につながった。

②みことばと祈り：霊的祝福、霊的結実につながる

③祈りの友、祈りの仲間を持ち、互いに祈りをもって支え合う